

須恵

2012
180号
FEBRUARY

平成24年2月3日発行

発行・編集責任者／議長 三角良人 所在地／〒811-2193 須恵町大字須恵771番地 TEL／092(932)1151(内線411 議会事務局) FAX／092(933)6579

なんば しょうと? 第3回

地域の特色

守母神社大祭

須恵町の地域の特色や伝統行事等を紹介しつづけます。そこで今回は、「守母神社大祭」ってなんばしょうと?



ほこら 祠内に奉納されている土人形



貝野 勝是 さん

御手洗 昇 さん

黒木 久行 さん

甲植木区の道林寺住職の貝野さん、総代の御手洗さん、世話役の黒木さんにお話を伺いました。守母神社は昭和の森公園の奥、大谷池の頭にあり、高鳥居城主の嫡子の乳母であった「天眼慈照禪尼守母大菩薩」を祀っています。大祭は毎年4月23～24日に行われます。

由来

高鳥居城「岳城」には、哀しい古い伝説があります。時は天文20年9月のこと、高鳥居城が反逆に遭い落城となります。城主には幼き男の子がおり、その子を守るべく乳母に菩提寺である植木霊樹山道林寺の和尚に託すよう命を授けます。そこへ向かう夜道、敵に追われ大谷の岩陰に潜んでいました。



ほこら 御神体の前に建てられた祠

すると眠っていた幼君が無心に泣き声を発してしまい、その声を聞いた敵に発見され討たれてしまいました。乳母は「私が幼君の夜泣きをさせなければ無事に道林寺まで逃れたのに」と悲憤の涙にくれました。そして「私はこの地で果ても必ずや万民の母となつて幼君を守り、夜泣きは絶対にさせない」と誓い息絶えました。その後、植木村の住民たちが浄財を持ちより、乳母が幼君を抱いて隠れていた岩を御神体としてその前に祠を建て、非業な最後を遂げた乳母の霊を「守母様」と称して、育児・夜泣き止めの神様と大切に祀りして今日に至っています。

編集後記

取材で、守母伝説を語っていただいた。須恵町に語り継がれる歴史の口マンというには哀しい物語だ。そして、現在進行形の物語が東日本大震災だ。間もなく1年を迎える。あの日、震源から遠い九州の大地は揺れなかったのだが、人の心は激しく揺れた。また春が巡ってくる。震災1年を期に復興を加速させねばならないとの想いに駆られる。そして、未曾有の災難を乗り越えて日本人が強くなった、たくましくなったと誇れるように、未来に語り継いでいきたいものだ。悲劇の物語ではなく、人間の強さを示す不屈の物語として。直接には揺れなかったこの須恵町だが、まずは自分の心の揺れを抑えて。 田ノ上 真

12月定例会 主な内容

9,628万円 平成23年度一般会計補正予算を可決! **2**▶

ここが聞きたい (一般質問) **4**▶

なんばしょうと? (守母神社大祭) **12**▶

限られた財源の中、予算確保は適正か

平成23年第4回定例会は、12月8日から12月16日までの9日間で行われ、提案された議案15件および意見書1件は、原案のとおり可決・承認されました。



開会を宣言する三角議長

9,628万円全員賛成で可決！

平成23年度 一般会計補正予算

不動産売払い収入 1億2千万円を貯金

◆一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9億628万1000円を追加し、総額がそれぞれ79億736万1000円となりました。

歳入の主なものは、地方特例交付金が交付額の確定により436万円の減額、繰入金で財政調整基金からの取り崩し額1億5200万円の減額、財産収入の町営住宅等不動産売払い収入1億2054万6000円、諸収入の福岡県市町村振興協会からの助成金1億円ならびに福岡県町村会からの助成金1000万円等の増額です。

歳出では、全体をとおして人事院勧告および人事異動に伴い、職員人件費の減額・調整を行っています。

その他の主なものは、児童福祉費の第二幼稚園造成工事が工事変更に伴い5800万円の減額、総務費の財政調整基金への積立1億2054万6000円、民生費の国民健康保険特別会計への繰出

金2286万7000円、農林水産業費の水田農業構造改革対策費補助金605万9000円、教育費の第二小学校学級数増加に伴う経費760万円、災害復旧費の東原林道佐谷観音谷地区災害復旧工事費580万円等の増額です。

また、※債務負担行為の補正として、コミュニティバス運行事業費（平成24年度～26年度）3カ年で限度額3600万円、住民記録システムおよび関連システム改修業務委託（平成23年度～25年度）3カ年で限度額2200万円、第二幼稚園造成工事（平成23年度～24年度）2カ年で限度額7000万円を新たに追加設定します。

なお、住民記録システムおよび関連システム改修業務委託については、住民基本台帳法の改正により外国人登録制度が廃止され、外国人住民についても住民票を作成することとなるため電算システムを改修するものです。

保険証を カード化に

◆国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7786万7000円を追加し、総額がそれぞれ30億2501万8000円となりました。

補正の主なものは、22年度の実績に基づく療養給付費負担金の精算金と23年度末までの医療費見込みにおいて不足が生じる高額療養費および24年度からの国民健康保険証カード化に伴う費用等です。

◆後期高齢者医療

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ665万7000円を追加し、総額がそれぞれ2億3916万1000円となりました。

補正の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金で、22年度分保険料において23年4月と5月に納入された分を23年度に広域連合に納入するものです。

下水道工事量



◆公共下水道事業

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ9575万6000円を減額し、総額がそれぞれ9億6089万1000円となりました。

補正の主なものは、国庫補助金減額確定に伴う下水道工事量の減等です。

◆農業集落排水事業

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ135万9000円を追加し、総額がそれぞれ9649万

加し、総額がそれぞれ9649万円となりました。

補正の主なものは、上の原処理場の跡地利用計画資料作成業務委託料です。

◆水道事業会計補正予算

収益的支出、営業費用68万8000円は人件費の増額、営業外費用12万3000円の減額は借入債の額の確定によるものです。

資本的収入、企業債500万円の減額は石綿管改良工事に伴う接続工事が起債対象と認められないため、国庫補助金32万円の減額は補助金確定によるものです。

資本的支出、改良費3700万円の減額は水道工事量の変更に伴うものです。

平成23年度歳入歳出補正予算

(単位：千円)

会計	歳入・歳出	補正額	予算総額	可・否
一般 (第3号)	歳入	96,281	7,907,361	全員賛成で可決
	歳出			
国民健康保険 (第2号)	歳入	77,867	3,025,018	全員賛成で可決
	歳出			
後期高齢者医療 (第1号)	歳入	6,657	239,161	全員賛成で可決
	歳出			
公共下水道事業 (第1号)	歳入	△95,756	960,891	全員賛成で可決
	歳出			
農業集落排水事業 (第1号)	歳入	1,359	96,490	全員賛成で可決
	歳出			
水道事業 (第1号)	収益的	—	—	全員賛成で可決
	収入	565	568,170	
	支出	△5,320	95,680	
	資本的	△37,000	245,978	

シリーズ 議会用語

「債務負担行為」とは？

地方自治法第214条に規定されており、1つの事業や事務が単年度で終了せずに、後年度においても「負担＝支出」をしなければならない場合には、議会の議決を経てその期間と額を確定するものです。



答弁中の中嶋町長

災害に備え

人命を尊重した対応を

問

3月11日に発生した東日本大震災は1万5000人を超える犠牲者を出し、なお3600人の方々が行方不明になっています。
東日本大震災は、発生から9カ月が過ぎようとしています。天災は忘れたころにくると言われますが、時と場所を選ばず襲ってくるのも自然災害です。

行政区の防災機材状況はどうなっていますか。
また、学校別避難体制の確立はできているのかお尋ねします。

答 今泉総務課長

一人暮らしの高齢者や障害者など、災害時の弱者に対し

行政区訪問まちづくり懇談会が開催され、地域の様々な課題が出されたと思いますが、防災防犯の取り組みについて発言がなかったかお尋ねします。



原野 敏彦 議員

て、地域の中で気象や災害の情報や避難所へ迅速かつ確実な誘導の支援体制を整備するため、要援護者避難支援プランを策定し、地域支えあい事業の見守り事業に合わせ、対象者の情報の一元化管理とGIS地理情報システムを合わせた、支援システムの構築を考えています。
防災の拠点施設としての須恵町防災センターに、災害時に必要な資機材、備蓄非常食、救助資機材等を備えています。また、各消防分団格納庫にも土嚢を備蓄しています。
まちづくり懇談会では、自主防災組織の結成等の発言がありました。



非常時に必要な資機材等を備えている須恵町防災センター

答 平松教育長

学校別の避難訓練につきましては、各年度の教育指導計画の中に盛り込み実施しています。
まず一次的に人命を尊重した対応を取ることを基本とし、火災、風雨、地震を想定した災害体制をとっており、消防署や他の行政機関と連携をとった訓練を実施しています。

コミュニティバスの検証は

24年4月から本格運行

問

2年に及ぶコミュニティバス実証運転も平成24年の3月までとなり、本格運行にするかを検証する時期にきています。
①利用状況は。
②通勤・通学・幼稚園送迎・部活帰宅時等の運行利用、佐谷く上須恵線や新原く川子線など午前10持までに福祉センターに到着しない路線の検討は。
③ストアー内のバス乗り入れ、病院・公共施設・学校・幼稚園などの主要拠点停車、交通接点へのアクセス向上等利便



コミュニティバス

性・採算性は。
④3校区を巡回する3台体制



今村 桂子 議員

の可能性は。
実証運行中は様々な運行実験をし、最も住民の利便性を考慮して本格運行へ移行するのが望ましいのですが、今後の予定は。
答 まちづくり課長
①利用状況は、一日当たり平均135人、一月では4182人、一年間で4万6512

人の利用がありました。
②③運行ダイヤの見直しについては、病院や買い物、他の公共交通機関への乗り継ぎ、福祉センター利用者への利便を検討し、新たに朝8時台の佐谷く上須恵線、新原く川子線の2路線を計画しています。
また、幼稚園・学校関係については、現在のところ運行予定はありませんが、活用を前提に今後検討します。
スーパーなどの買い物施設への乗り入れは、敷地内での事故や駐車スペース等の問題もあり、警察協議のなかで認定は難しいとのこと。
④3台体制の可能性は、現状では考えていませんが、将来的に要望があれば、バスの購入と合わせて大幅なルートやダイヤ改正が必要であり、慎重に検討したいと思っています。
24年4月から町の有償運営として、本格運行をすることが決定しました。
現行での運行を基本的に軽微な路線変更や新たなバス停を新設し、利用しやすい運行をしていきます。

雇用対策を

一本化した窓口を設ける

問 今日、長引く不況の中で住民の方々の雇用・収入源の不安がますます深刻の度を増しています。

①町民税の税収状況はどうなっていますか。

古賀市・志免町は雇用対策の取り組みをしています。古賀市では、市民の就労を支援するため「古賀市無料職業紹介所」を開設されています。

②須恵町では緊急雇用対策事業を実施してありますが、現在の実施状況はどうなっていますか。



古賀市庁舎内に開設されている「無料職業紹介所」

ますか。

③古賀市のような取り組みが是非必要だと思えますが、町長はどのように考えますか。

答 今泉総務課長

①税収の状況として、町民税は年間にして3700万円程度減収が見込まれ、法人税については企業数が多い関係で

1500万円ほどの増収を見込んでおり、トータルでは若干下がる予定です。

②緊急雇用対策の実施状況は県の緊急雇用創出事業、臨時特例基金事業の補助金を活用して、平成21年度から23年度まで、緊急雇用事業で4970万円、重点分野雇用創出事業として4430万円、合計9400万円に上る雇用対策事業を実施し、辞職を余儀なくされた非正規労働者や、中高年齢者の失業者を、123人新規雇用しております。

答 中嶋町長

③雇用対策で、現在企業誘致はまちづくり課が担当し、商工会の振興及び就職斡旋については建設産業課が担当しています。

今後町の方で一本化した窓口を設け、係を置きます。

また、町民の方にも広報・PRができるような形で、商工会・企業組合・行政と三者が一体となり対応していきます。



百田 輝子 議員

4 職員のコミュニケーション能力の向上を 研修を行っていく

問

須恵町では、町全体にあいさつが飛び交う町になるように「オアシス運動」の推進をしています。

各行政区にオアシス通りが設置してあり、幼児から高齢者まで、この「オアシス通り」を中心にあいさつを交わすことにより、須恵町の住民の輪が広がっていくことが期待されています。

しかし、このオアシス運動、庁舎内では実施されていますか。

たかが「あいさつ」されど「あいさつ」こんなところから職員のコミュニケーションの意識改革をされてはどうでしょうか。

答 中嶋町長

あいさつは人と人のコミュニケーションの始まりであり大切なものであると思います。

スポーツ大会、地域の行事等には極力参加し、運営に当たるよう指導していますが、町職員の中にもあいさつが苦

手な者が何人かいたり、組合に未加入の職員がいますので、オアシス運動の推進とともに今後も指導していきます。

職員のコミュニケーション能力をつけるための研修は、職員研修基本計画というものがあ、全体の奉仕者としてコスト意識をもって行動する

職員・町民の目線で考え実践できる職員・確かな時代認識に立ち、制度や政策を企画立案し責任をもって実行する職員・幅広い視点から柔軟に改革できる職員、これらの事を基本に職場内あるいは職場外研修を行っています。



松山 力弥 議員



庁舎職員「朝礼」の様子

一般質問のその後

オアシス運動を問う

定着させたい

問

今、どの自治体でも挨拶運動の推進がなされています。先の震災での教訓として、人と人とのつながりや絆の大切さが見直されています。その最たるものが挨拶だと思います。

少子高齢化が進むにつれて、コミュニティの重要性を実感しています。当町でも、校区コミュニティや行政区を中心に老人クラブ等、各種団体のボランティアの人たちによって、子どもたちの見守り活動とおして、

数年前からオアシス運動が取り組まれています。

町民がどこでも誰とでも挨拶ができる環境づくりが求められます。

須恵町での現在までの進捗状況と今後の対応策を問います。

答 平松教育長

オアシス運動は、本町では昭和58年から取り組んでおり、明るく住みよい地域をつくるには、まず挨拶が大切として始められました。その後、平成21年6月議会



藤石 豊 議員

過去の一般質問の状況を追ってみました。

どうなった？

がん対策の充実は

問

がんは日本の死亡原因の第1位で、死因の3割を占めており、日本は世界一のがん大国となっています。町の取り組みや検診受診率を上げる施策について伺います。また、国の予算でがん検診の無料クーポン券の配付が盛り込まれていますが、町としての対応をお伺いします。

答 中嶋町長

検診受診率を上げるには、受診しやすい形態を作ることだと思います。

がん検診の無料クーポン券の配付は、厚生労働省から福岡県に通達がないので、具体的な内容が分かった時点で報告があると思われます。(平成21年6月定例会)

その後

がんによる死亡者数を減少させるためには、がん検診の受診率を向上し、早期に発見することが極めて重要であることから、受診勧奨として、クーポン券によるがん検診の受診に必要な費用を助成する事業を行い、健康意識の普及啓発に取り組んでいます。また、平成23年9月には、受診率向上の一環として、乙植木区の協力を頂き、身近な場所で受診が出来るように、乙植木コミュニティセンターで住民検診を実施しました。

【がん検診推進事業への取組】

◇平成21年12月～女性特有のがん(子宮頸がん・乳がん)検診の無料クーポン券の配付を開始しました。



検診車

◇平成23年度～大腸がん検診の無料クーポン券の配付を追加しました。

(対象者)

*子宮頸がん…20・25・30・35・40歳の女性
*乳がん…40・45・50・55・60歳の女性
集団検診や個別検診(県内広域医療機関含む)で受診できる体制を整備しました。

(対象者)

*大腸がん…40・45・50・55・60歳の男女
集団検診で受診できる体制を整備しました。個別検診で受診できる体制の整備については、今後医師会と協議する予定です。

【子宮頸がん等ワクチン接種事業への取組】

◇平成23年3月～子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種について、接種費用の助成を開始しました。

(対象者)

*子宮頸がん予防ワクチン…高校1年生の女子(平成23年4月～対象者の枠を広げ、中学1年生～高校1年生の女子としました。)
*ヒブワクチン…0～4歳
*小児用肺炎球菌ワクチン…0～4歳

平成24年3月31日までの事業とされていましたが、平成24年度以降についても継続するよう国で協議されています。



新原北交差点「オアシス運動」看板

において、オアシス運動の復活を説明した経緯があります。今現在の取り組みは、各行政区にオアシス通りを指定していただき、23年9月にオアシス通りのロゴマークを募集、24年度からの事業として指定した道路にロゴマークをプリントし、何らかのイベントを計画し、この運動を定着させたいと考えています。小学校では児童運営委員会、中学校では生徒会が運動の中心となり全校的に取り組んでおり、どの学校でも気持ちのいい挨拶をするようになりま

答 中嶋町長

「やってみせ、言ってみせ、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」という言葉があります。大人がやってみて、子どもたちが気持ちのいい挨拶をしたらほめてやることだと思います。



三角 良人 議長

絆

平成23年の漢字一文字は「絆」に決定しました。衆人一致だと思われず。個人としては、違う言葉を期待していました。今議会でも質疑応答のなかで、何度もこの言葉が使われました。絆は「糸」に「半ば」と書きます。「継」とも書くそうです。糸の半分を自分が持ち向こう半分を他の人が持つて自分を支えてくれている。結婚では赤い糸にたとえられるように、この糸は「運命の糸」であり、その繋がりが「絆」だと自分は解釈しています。今後も家族・友人・隣近所たくさんさんの「糸」が須恵町に増えていくことを願うばかりです。

委員会レポート a committee report

総務建設産業委員会

平成23年10月25日、宮崎県で行われた「森林・林業・林産業活性化九州大会」に参加しました。九州7県の促進議員連盟と林業関係者が一堂に会し、活性化と山村地域の振興を図ることを目的に3年に1度開催されています。また、帰りには「あさぎり町役場」を訪れ「バイオマスタウン」についての研修を受けました。これらは地球温暖化問題をはじめ、広範囲に及ぶ大きな問題です。森林を抱える当町でも身近なことは言うまでもありません。山を守ることの重要さを改めて確認しました。



森林・林業・林産業活性化九州大会

文教厚生委員会



給食を試食する文教厚生委員会委員

平成23年11月30日、第1小学校を訪問しました。今年度購入した電子黒板、各教室に設置された扇風機などの備品状況を確認しました。また、床の改修工事が行われた給食室や修理予定の渡り廊下の天井等を見て回りました。栄養士さんから、給食について材料の安全性や栄養面で配慮していること等を伺い、試食をしました。これからも、小・中学校を訪問する予定です。

追加工事等により契約変更

◇工事請負契約の変更

内原く大谷線道路改良工事 請負金6121万5000円が7162万1550円となりました。

増額の主な理由は、橋梁補強をボックスカルバートに、および地元植木農区の要望でもある大谷ため池への不法投棄防護柵の設置ならびに舗装工等です。
(全員賛成で可決)

事前協議で県から指摘が

◇第二幼児園造成工事の変更施工

今回の変更は、開発事前協議において県から指摘事項が多数あったため、変更の必要が生じたものです。

変更の内容は、工事量・事業費の減および緑地工・汚水工・給水工の削除、地下貯留槽工の追加です。事業費1億円が7000万円になりました。
(全員賛成で可決)

要望通らず補助金削減

◇下水道工事の変更施工

- ①赤坂地区管渠築造工事
 - ②上須恵地区管渠築造工事
 - ③大島原地区管渠築造工事
- 事業費4億2630万円が3億4160万円になりました。補助対象事業要望より約40%が減額されました。

東日本大震災の影響もありますが、平成22年度は約25%カットと要望通りにはいかなくなってきています。今回できなかった分は24年度優先して事業を行います。
(全員賛成で可決)

下水道工事に伴い

◇下水道工事の変更施工

- 今回の変更は、下水道工事の減によるものです。
- ①赤坂地区水道管切替工事
 - ②旅石地区水道管切替工事
 - ③上須恵地区水道管切替工事
 - ④大島原地区水道管切替工事

事業費1億9600万円が1億5900万円になりました。
(全員賛成で可決)

その他の議案

- ◇須恵町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成で可決)
- ◇須恵町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成で可決)
- ◇町営路線の区域の変更 (全員賛成で可決)
- ◇町営路線の廃止 (全員賛成で可決)
- ◇工事請負契約の締結 (全員賛成で可決)

お知らせ

町議会の活動状況を知るために、どなたでも傍聴できます。申し込みの受付は、役場4階議会事務局で行っています。なお、次の定例議会は3月2日からの予定です。

広報特別委員会

- 議長：三角 良人
委員長：今村 桂子
副委員長：合屋 伸好
委員：百田 輝子
委員：田ノ上 真

すえまち未来だ



イラストレーター・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ
http://www.wooco.net/